

我が子を「いじめ」から守るために

前橋市教育委員会
前橋市小中学校校長会
前橋市小中養護学校PTA連合会

いじめは、決して許されることではありません。しかし、すべての学校、すべての学級、そして、すべての子どもに起こり得るものです。いじめを予防・発見・解決するためには、保護者と学校の協力が必要です。
このリーフレットを、各家庭でいじめ問題について話し合うきっかけにさせていただきたいと思えます。

「いじめ」と感じたら・・・。

子どもの立場に立って話をじっくり聞いてあげてください。
そして、「あなたを絶対に守る」「あなたの味方である」という気持ちを伝え、安心させてください。

「いじめ」を発見したら・・・。

お子さんがいじめを受けていることを把握した場合、学校にすぐに相談し、解決に向けて対処することが重要です。担任、校長、教頭、養護教諭、スクールカウンセラーなどの教職員が、解決に向けて対応いたします。

※保護者と学校が連携し、いじめが解決した後も、学校と連絡を取り合いながら、引き続きお子さんの様子に十分な注意を払い、いじめの再発を予防する必要があります。

もし、いじめていることが分かったら・・・。

自分の行為が「いじめ」であることを自覚していない場合は、「いじめは絶対に許されない」という毅然とした態度でその行為をやめさせるとともに、自分の行為がどれだけ相手を傷つけたか考えさせることが大切です。

いじめ問題等にかかわる主な相談窓口

様々な意見が聞いてみたい場合には、次のような相談窓口があります。お気軽に相談ください。

	機関名	電話番号	備考
1	プラザ相談室	027-230-9090	前橋市総合教育プラザ4階
2	いじめ110番	027-226-4619	群馬県教育委員会
3	いじめ対策室	0120-889756	群馬県総合教育センター
4	24時間いじめ相談ダイヤル	0570-0-78310	文部科学省
5	少年育成センター	027-221-1616	群馬県警察本部
6	こどもの悩み110番	027-252-8991	前橋警察
7	こどもの悩み110番	027-243-8989	前橋東警察

「いじめ」を発見するために。

いじめを解決するために大切なことは、子どもが発する言葉や表情、しぐさなどの「小さなサイン」に早く気づき、すばやく、そして冷静に対応することです。いじめを早期に発見するために、子どもの様子を定期的にチェックしてみませんか？

★いじめ発見のチェックポイント

- 衣服の汚れや破れが見られたり、よくけがをしたりしている。
- 風呂に入りたがらなくなる。裸になるのを嫌がる。（殴られた傷跡などを見られるのを避けるため）
- 買い与えたものが紛失したり、壊されたり、落書きされたりしている。
- 家庭から品物やお金を持ち出したり、余分な金品を要求したりする。
- 食欲が無くなったり、体重が減少したりする。
- 寝付きが悪かったり、夜眠れなかったりする日が続く。
- 激しい口調の寝言や助けを求める寝言を言ったり、うなされることが多くなる。
- 表情が暗くなり、言葉数が減る。
- いらいらして反動的になったり、急に口数が少なくなって元気がなくなる。
- 部屋に閉じこもりがちになり、ため息をついたり、考え事をしたりする。
- 言葉遣いが荒くなり、親や兄弟に反抗したり、ペットをいじめたり、物に八つ当たりする。
- 親から視線をそらしたり、家族から話しかけられることを嫌がったりする。
- 刃物など、危険な物を隠し持つようになる。
- 登校時刻になると、頭痛・腹痛・吐き気などの身体の不調を訴え、登校を渋る。
- 学校を早退したり、用事もないのに帰宅時間が早くなったり遅くなったりする。
- 転校を口にししたり、学校をやめたいなどと言い出す。
- 親しい友人が来なくなり、見かけない者がよく訪ねて来る。
- 不審な電話や、嫌がらせの手紙・メールがくる。友人からの電話で急な外出が増える。
- 自己否定的な言動が見られ、死や非現実的なことに関心を持つ。
- 投げやりで集中力が無くなる。ささいなことでも決断できない。
- テレビゲームなどに熱中し、現実から逃避しようとする。
- 急に学習時間が減ったり、宿題や課題をしなくなったりする。
- 急激に成績が下がる。

群馬県教育委員会 いじめ対策室「いじめ発見のチェックポイント」より

★その他のチェックポイント

- 会話が少なくなり、学校の話話をさける。
- 友人について話をしなくなる。
- 「いってきます」などのあいさつに元気がない。
- 感情の起伏が激しくなる。
- 「死ね」「バカ」などの手紙がある。
- 友人からの電話の対応が暗い。
- 教師への不満を話す。
- 独り言が増える。
- 外出したがらなくなる。
- 音楽の趣味が変わる。
- 貧乏ゆすりやチックが激しくなる。

「ネット上のいじめ」について

携帯電話やパソコンを通じて、ウェブサイトの掲示板などに、特定の子どもの悪口や誹謗・中傷を書き込んだり、メールを送ったりするなどの方法による「ネット上のいじめ」が社会的にも問題になっています。

「ネット上のいじめ」は、インターネットの持つ匿名性から、安易に誹謗・中傷の書き込みが行われるため、子どもが簡単に被害者にも加害者にもなるとともに、不特定多数の者からの絶え間ない誹謗・中傷により、被害が短期間で極めて深刻なものになるという特徴があります。